

大 分 県
在宅医療に関するアンケート調査
報 告 書

= 概 要 版 =

令和5年 9月

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、大分県における在宅医療の推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 対象者と抽出方法

大分県内に居住する20歳以上の男女個人を住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出しました。

3 調査方法

郵送調査法とWEB調査を併用

4 調査時期

令和5年7月24日～令和5年8月7日

5 配布・回収状況

発送数 3,000 回収数 1,442 回収率 48.1%

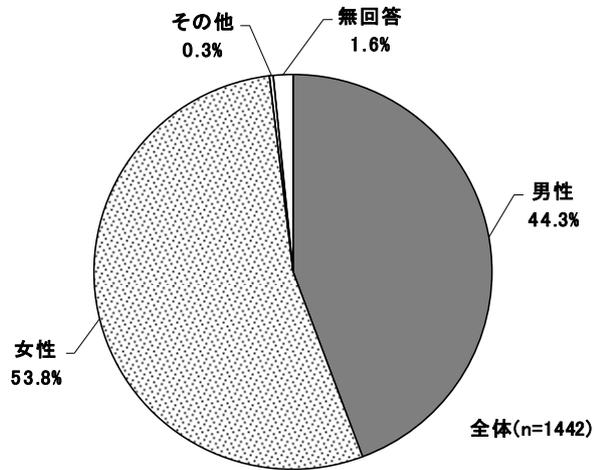
6 調査結果の処理

- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

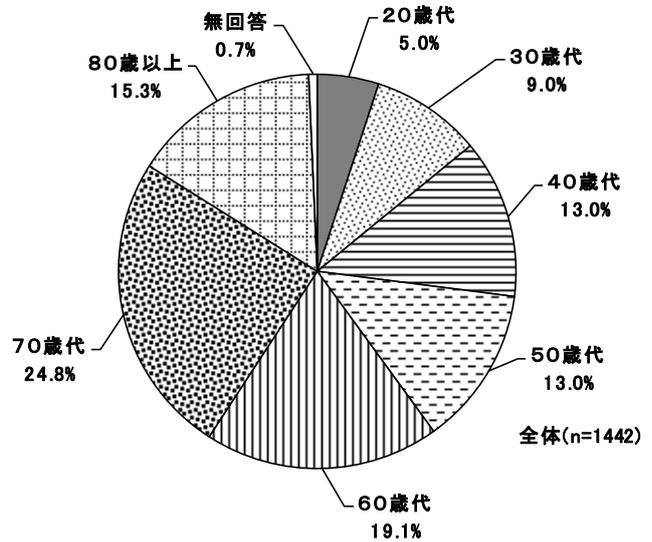
Ⅱ 調査結果

○ 回答者属性

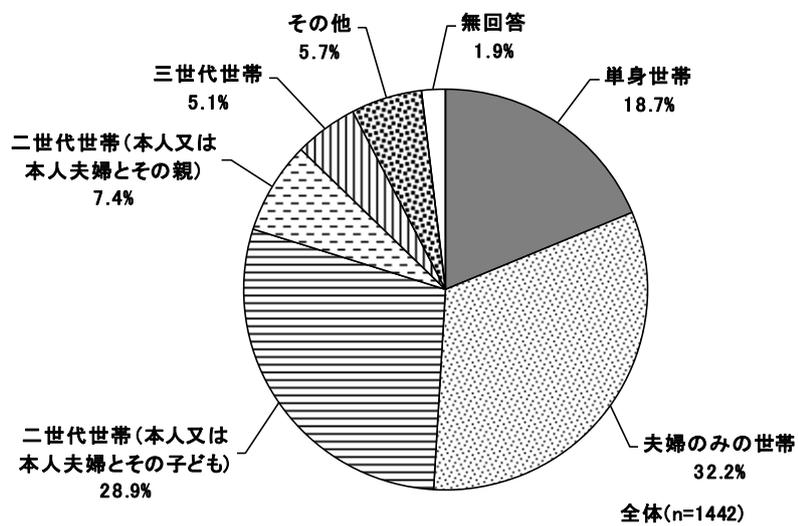
【 性別 】



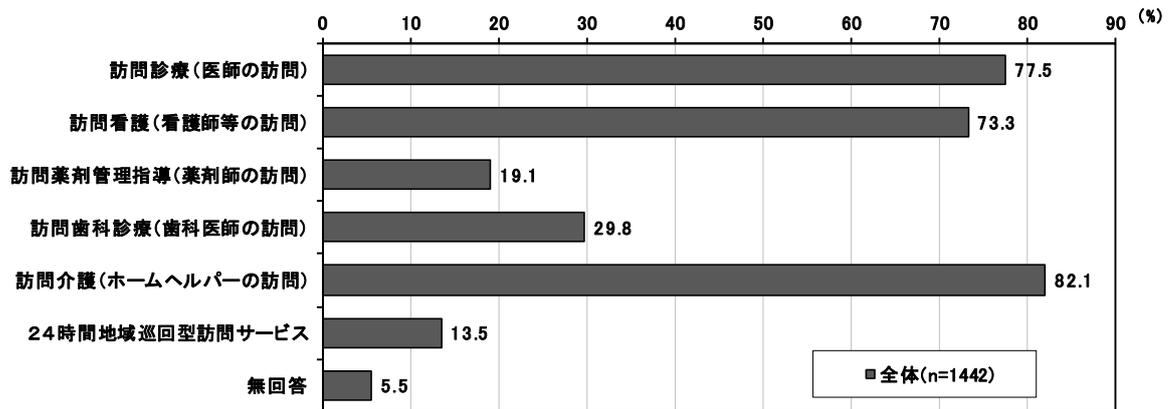
【 年齢 】



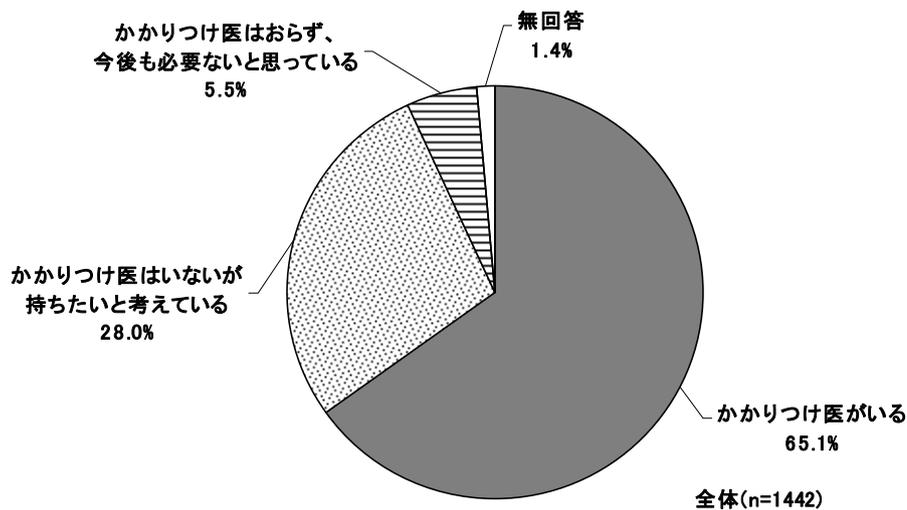
【 家族構成 】



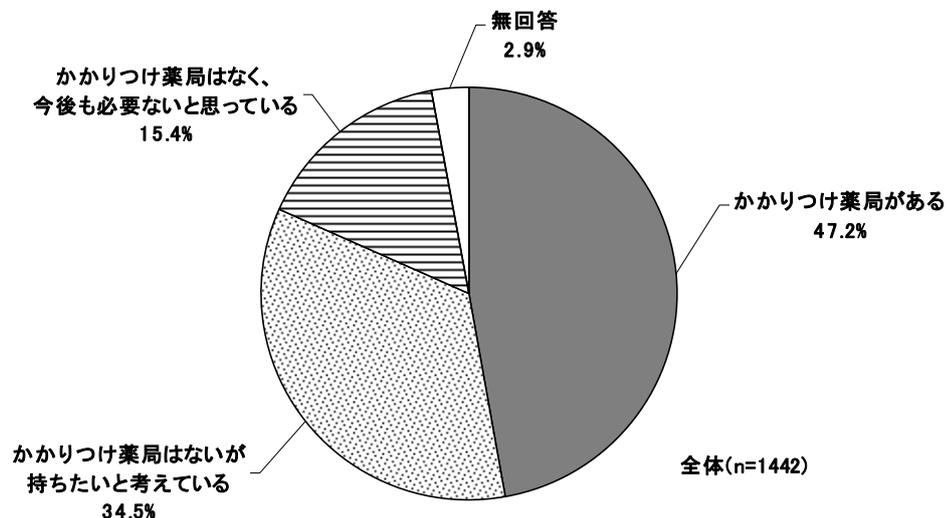
問2 あなたは、次の在宅医療や介護のサービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)



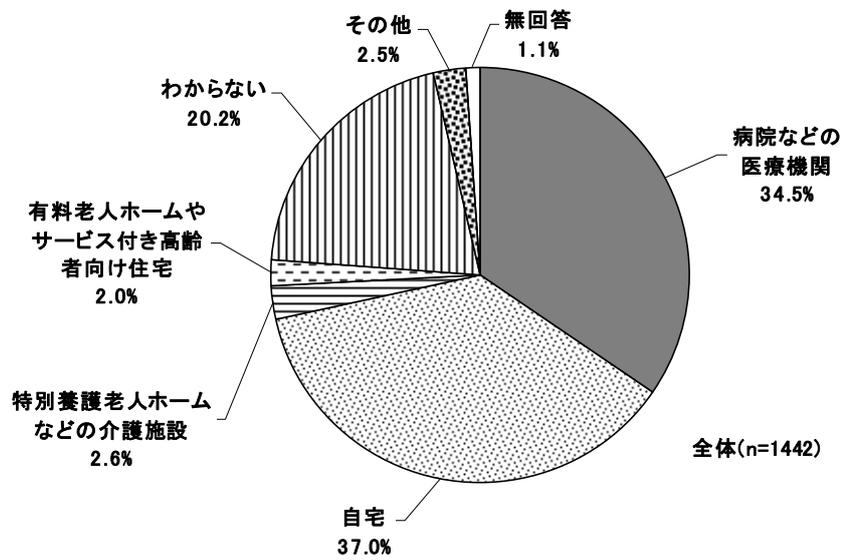
問3 あなたには、普段の健康状態や病気のことを相談でき、決まって診療を受ける「かかりつけ医」がいますか。(1つだけ○)



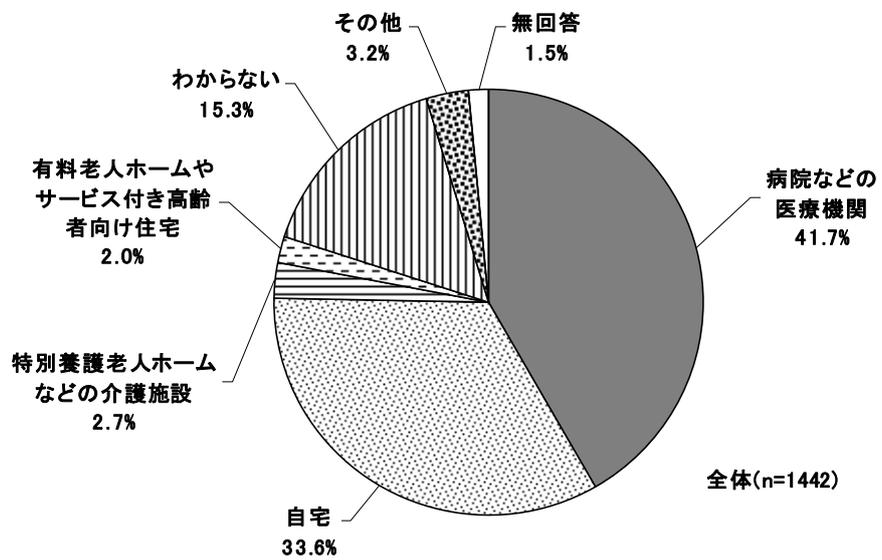
問4 あなたには、普段の健康状態や薬のことを相談できる「かかりつけ薬局」がありますか。(1つだけ○)



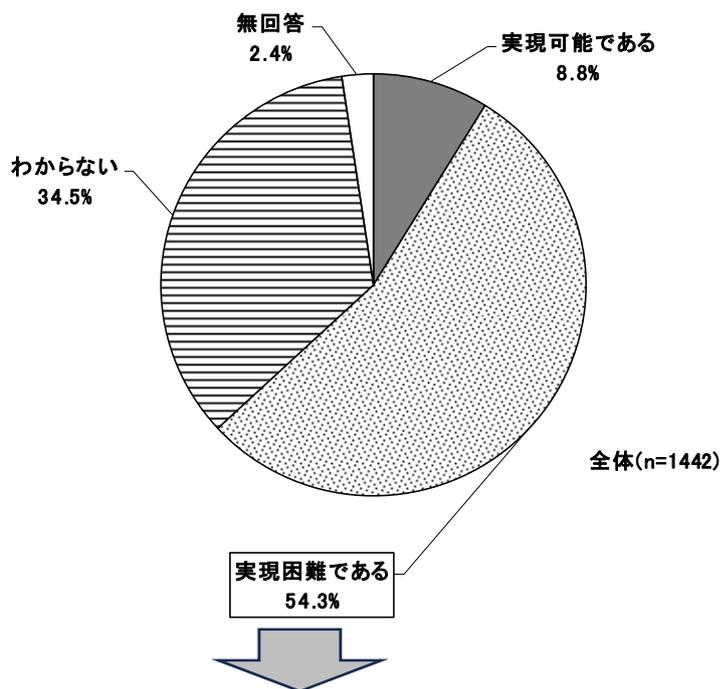
問6-1 もし、あなたが、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期をどこで迎えたいですか。(1つだけ○)



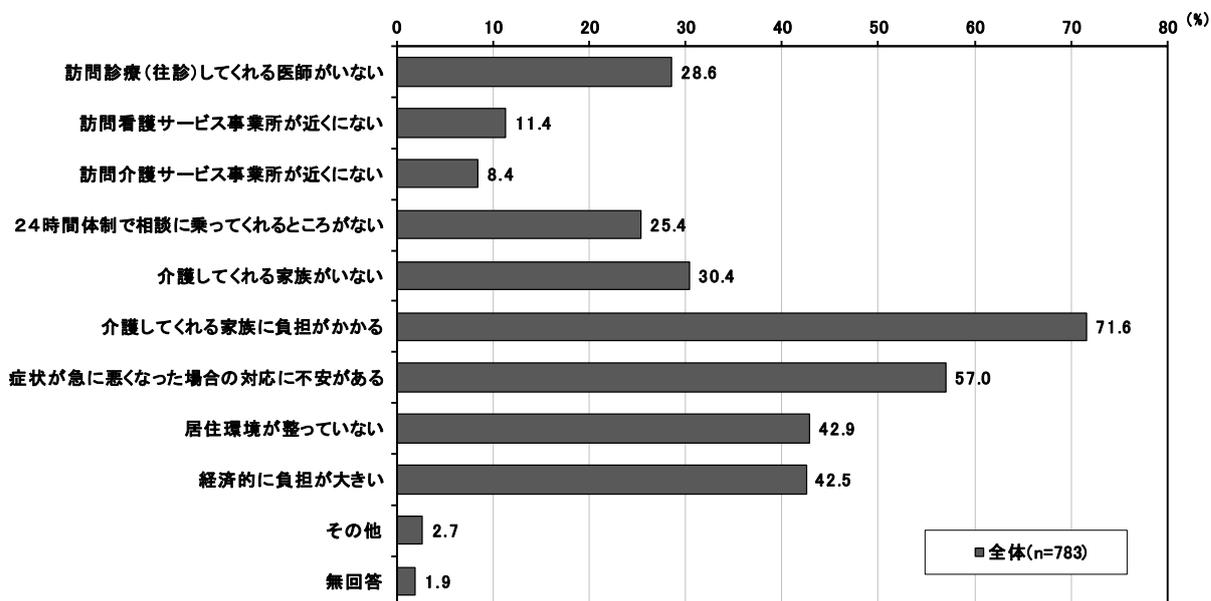
問7-1 もし、あなたの家族が、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えたとき、最期をどこで迎えてほしいですか。(1つだけ○)



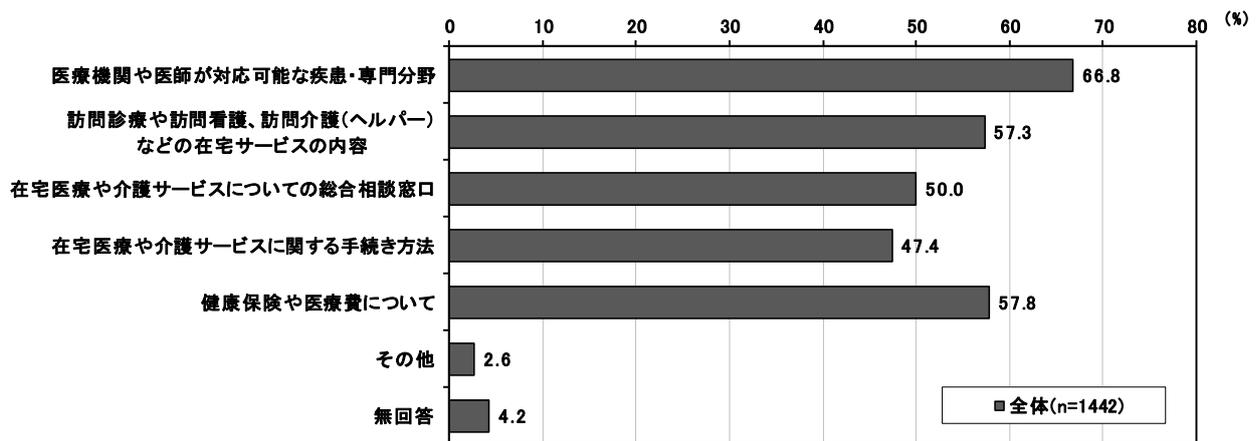
問8 自宅において、あなた自身や家族が最期まで療養が可能だと思いますか。(1つだけ○)



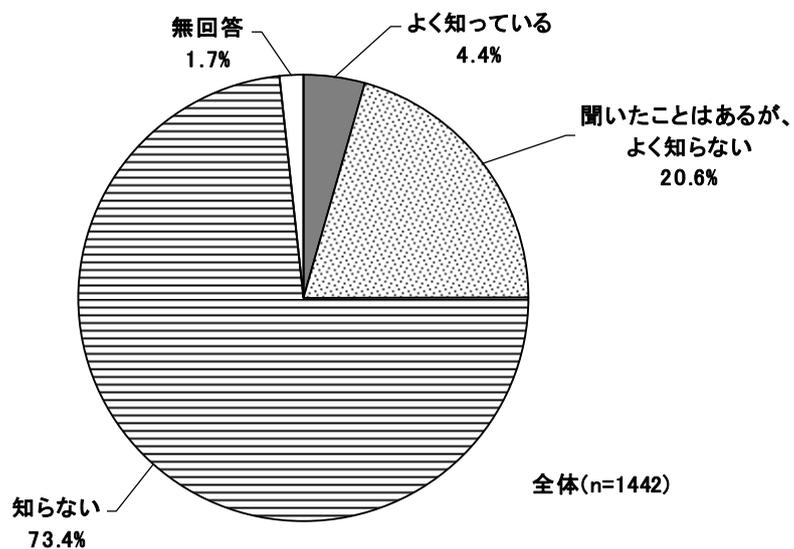
問9 問8で「2 実現困難である」と回答された方にお尋ねします。実現困難であると考えた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



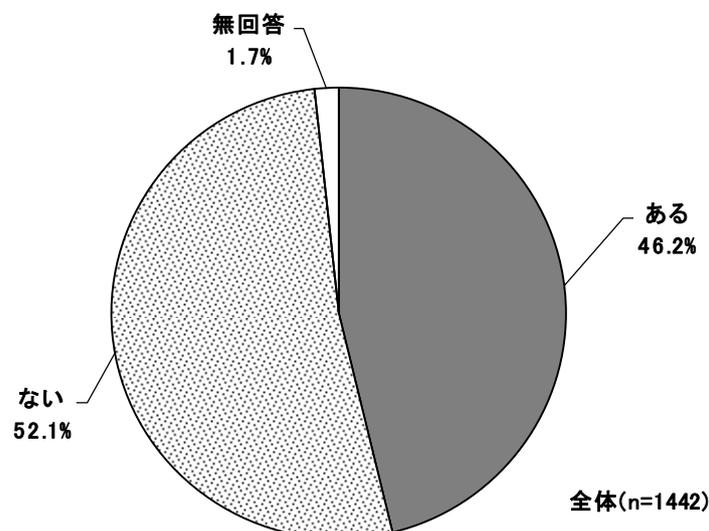
問12 あなたが、在宅医療や介護サービスに関して知りたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



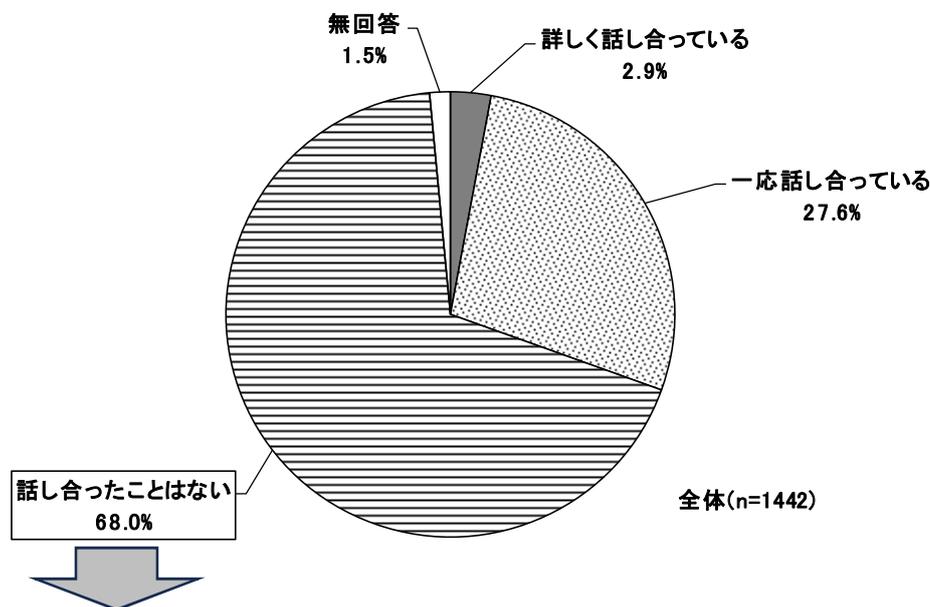
問14 あなたは、「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」について、これまで知っていましたか? (1つだけ○)



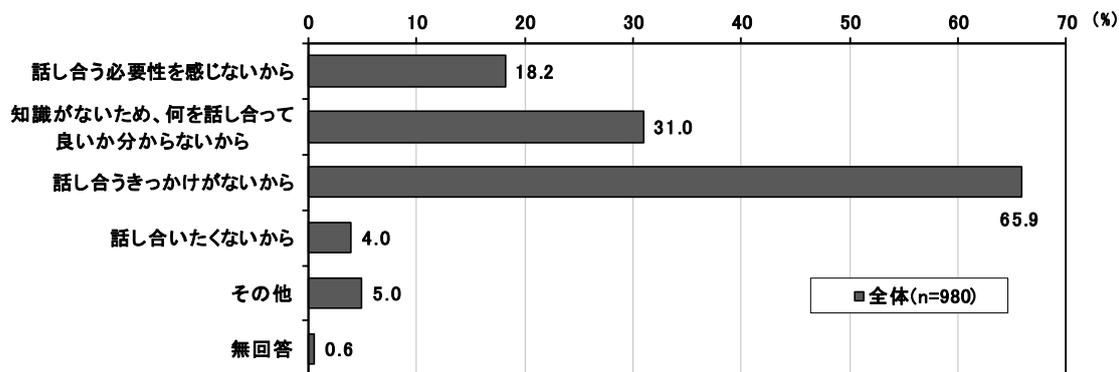
問15 あなたは、ご自身やご家族の望む医療やケア等について、これまでに考えたことがありますか。(1つだけ○)



問16 あなたは、ご自身やご家族の望む医療やケア等について、ご家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っていると思いますか。(1つだけ○)



問17 問16で「話し合ったことはない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)



問18 あなたは、人生会議を進めることについて、どう思いますか。(1つだけ○)

